

四国では香川のみ、皇居三の丸尚蔵館の名品を紹介する展覧会を開催します！

特別展 皇居三の丸尚蔵館名品選 「美が結ぶ 皇室と香川」

- 1 展覧会名 特別展 皇居三の丸尚蔵館名品選「美が結ぶ 皇室と香川」
- 皇居三の丸尚蔵館は、皇居内の東御苑内において、皇室に代々受け継がれた古代から近現代までの貴重な美術工芸品を約6,100件（約2万点）収蔵し、保存、研究、公開を行っています。本展は香川県立ミュージアムが収蔵する皇室ゆかりの美術品のうち、中世から近代の絵画の名品、近代の工芸や彫刻から香川県をはじめとする四国にゆかりのある作品を中心に展示します。これらの名品を介して、皇室の文化と香川とのつながりを身近に感じ、今日に受け継がれる文化の大切さや郷土の歴史にふれていただく機会となりましたら幸いです。
- 【展示点数】64件94点（国宝2件、香川県指定有形文化財2件）
- 2 会 期 令和6年4月20日（土）～5月26日（日）全33日間
- ◇開館時間 9：00～17：00 入館は閉館の30分前まで
- ◇休 館 日 月曜日（4月29日、5月6日は開館）、5月7日（火）
- ※ 一部場面替5月8日（水）～
- 3 会 場 香川県立ミュージアム 特別展示室、常設展示室1・4・5
〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号 087-822-0002(代表)
- 4 観 覧 料 一般：1,400円 / 前売・団体（20名以上）：1,100円
- 高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
- ※ [前売] 香川県立ミュージアム、セブン・イレブン各店
3月5日（火）～4月19日（金）まで
- ※ 5月18日（土）「国際博物館の日」は観覧料無料
- 5 主 催 香川県立ミュージアム、皇居三の丸尚蔵館
- 共 催 香川県教育委員会、四国新聞社
- 特別協力 文化庁、金刀比羅宮、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
- 助 成 令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業
- 後 援 香川県文化財保護協会、朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、日本経済新聞社
高松支局、毎日新聞高松支局、NHK高松放送局、OHK岡山放送、RSK山陽放送、
KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、FM香川、FM815

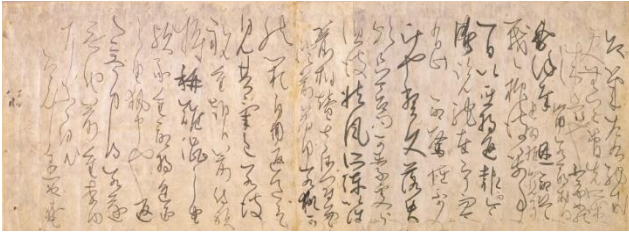
各章の見どころ

★= 皇居三の丸尚蔵館収蔵

第1章 皇室が紡ぐ日本の美

皇室に受け継がれてきた美術品を紹介します。

平安時代の能書。伝空海、「三跡」(小野道風・藤原佐理・藤原行成)を展示



藤原佐理(ふじわらのすけまさ)「恩命帖(おんめいじょう)」平安時代(10世紀)★



【国宝】藤原佐理「詩懐紙(しかいし)」平安時代(10世紀) 同館所蔵

佐理の青年期と壮年期の作品が並ぶ

第2章 金刀比羅宮ゆかりの絵師たち

皇室と金刀比羅宮にゆかりの深い絵師による両者の所蔵する貴重な美術作品が一堂に会します。



(部分)



(部分)

【国宝】「動植綵絵」と金刀比羅宮の至宝「百花の図」が初めて同時に並びます。

【国宝】伊藤若冲(いとうじゃくちゆう)「動植綵絵(どうしょくさいえ)のうち 向日葵雄鶏図(ひまわりゆうけいず)」(左)「動植綵絵のうち 芍薬群蝶図(しゃくやくぐんちょうず)」(右) 江戸時代(18世紀)★



【香川県指定有形文化財】伊藤若冲「百花(ひゃっか)の図」のうち襖絵 江戸時代(18世紀) 金刀比羅宮所蔵

「百花の図」は修理後、金刀比羅宮の宮外で初公開



円山応挙（まるやまおうきよ）「旭日猛虎図（きょくじつもうこず）」 江戸時代（18世紀）★



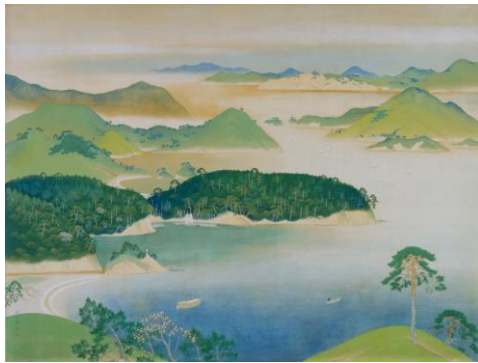
高橋由一（たかはしゆいち）
「読本（とくほん）と草紙（そうし）」明治7-8年（1874-75）
金刀比羅宮所蔵



高橋由一「織田信長ひそかに密勅（みっちよく）を五老臣（ごろうしん）に示すの図」明治26年（1893）★

第3章 皇室を彩る四国ゆかりの美

皇室に受け継がれた四国ゆかりの美術作品を紹介します。



松岡映丘（まつおかえいきゅう）
「大三島（おおみしま）」昭和7年（1932）★



中川八郎「鳴門瀬戸（なるとせと）」大正6年（1917）★

香川県出身工芸家の
作品が里帰り



北原千鹿（きたはらせんろく）
「羊置物」昭和3年（1928）★



香川宗石（かがわそうせき）
「瑞鳥之図存清食籠」（ずいちょうのずぞんせいじきろう）
昭和41年（1966）★



磯井正美（いそいまさみ）
「蒔繪丸盆 曙光」（きんままるぼん しょうこう）
昭和62年（1987）★

第4章 皇室のご慶事—主基国・讃岐、大正大礼を中心に

大正天皇の即位後初めての^{にいなめまい}新嘗祭（^{だいじょうさい}大嘗祭）で、卜定（ぼくじょう）によって^{すき}主基国に選ばれた香川県。大嘗祭にまつわる作品とその歴史を中心に紹介します。



(右隻)





(左隻)

近代日本絵画の巨匠が
新時代を生き
香川の風景を描く

竹内栖鳳（たけうちせいほう）「大正度 主基地方風俗歌屏風（たいしょうど すきちほうふぞくうたびょうぶ）」大正4年（1915）★

関連企画 特別展開催期間中は全館を通じて関連企画を行います。

常設展示	(常設展示室2)	「皇室と高松松平家—大正時代の行啓」
	大正6年（1917）に旧高松城内に建設された高松松平家の別邸披雲閣（重要文化財）は、香川を訪れた皇族など多くの賓客をもてなす場所として使用されました。本展では大正11年に摂政宮（後の昭和天皇）が滞在した際の資料から、皇室と松平家、香川県との関わりを紹介します。	 行啓時の披雲閣室内のしつらえ (画像：同館所蔵)
特別公開	(常設展示室3)	「重要文化財 光厳天皇宸翰奉納心経」
	特別展に合わせ、北朝初代の天皇とされ、後に仏道に入った光厳天皇（1313～64）の宸翰、 ^{しんかん} 「般若心経」3巻を特別公開します。	 重要文化財 光厳天皇宸翰奉納般若心経のうち 「伊勢太神宮奉納」 南北朝時代 同館所蔵

関連行事

1 記念講演会 無料・要事前申込

(1) 日本の書の成立と楽しみ

日 時 | 4月20日 [土] 13:30~15:00

講 師 | 島谷 ^{しまたに ひろゆき} 弘幸 氏 (皇居三の丸尚蔵館館長)

申込期間 | 3月22日 [金] ~ 定員になり次第終了

文字がなかった日本に文字が渡来したことで、日本人は文字を使うようになりました。その後、漢詩や漢文を自由に作り、中国風の書を巧みに使うようになった時代から、日本風の文字を展開するまでの流れを平易にお話しします。読めなくても楽しめる書の魅力を、造形・線・連綿・余白・空間構成などから紹介します。

(2) 若冲花鳥画の魅力

日 時 | 5月11日 [土] 13:30~15:00

講 師 | 朝賀 ^{あさか ひろし} 浩 氏 (皇居三の丸尚蔵館副館長)

申込期間 | 4月12日 [金] ~ 定員になり次第終了

さまざまな画題やモチーフの作品を独特の表現で多数残した伊藤若冲の画業について、主に金刀比羅宮《百花の図》や皇居三の丸尚蔵館収蔵《動植綵絵》などの花鳥画を中心に、その魅力を紹介します。

2 ワークショップ 有料・要事前申込

(1) 描くワークショップ「若冲到まねぶ」

日 時 | 4月27日 [土] 13:30~16:00

講 師 | 中村 ^{なかむら ゆずる} 譲 氏 (尾道市立大学教授・日本美術院同人)

参加料 | 2,000円

定 員 | 20名 *応募者多数の場合は抽選

申込期間 | 3月21日 [木] ~4月11日 [木]

(2) 食べるファミリー・ワークショップ「ほく・ホクご飯を炊こう」

日 時 | 5月19日 [日] ① 9:00~10:30 ② 11:00~12:30

講 師 | 永原 ^{ながはら みちよ} 三千博 氏 (五つ星 お米マイスター Prof.)

参加料 | 1,500円

定 員 | 各回12名 小学生とその保護者 *応募者多数の場合は抽選

申込期間 | 4月3日 [水] ~4月24日 [水]

3 今、知りたい! ロビートーク

同館学芸員などが見どころをかんたんに解説します。

日 時 | ①4月21日 (日) ②4月28日 (日) ③5月12日 (日) ④5月26日 (日)

・11:00~ ・14:00~ 各回20分程度

会 場 | 2階西ロビー + 特別展会場

4 国際博物館の日記念事業 ゴールデン・ウィーク・スペシャル

ボンポニエールづくり、お手玉あそび、ぬりえなど、展覧会にちなんだ遊びがいっぱい!

展覧会鑑賞の前や後に楽しくあそぼう!

日 時 | 5月3日 [金・祝] ~5月5日 [日・祝]

・10:00~12:00 ・13:00~16:00

会 場 | 2階西ロビーほか

参加料 | ボンポニエールづくりは100円程度いただくことがあります。(保険料・材料費として)

お問い合わせ

香川県立ミュージアム 学芸課
〒760-0030 高松市玉藻町5番5号
Tel.087-822-0247 Fax.087-822-0049



E-mail: kmuseum@pref.kagawa.lg.jp

Web: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>

X (旧ツイッター) ・フェイスブック ・YouTube でも情報発信中

